

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社デンソーF A山形

天童市にある株式会社デンソーF A山形で働く、成澤裕太さん取材しました！

成澤さんは、秋田県立大学を卒業後、2013年に入社しました。

現在は、電気設計室設計二課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私は今、電気設計室におりまして、当社の製品である生産設備の電気系統のハード設計と制御設計プログラミングを進めています。場合によっては現場に出て、設計したソフトウェアのバグ出し（注：プログラム上のミスを探す作業）やそのデバッグ（注：ミスの修正作業）をします。

それから、現場の製造メンバーと製造した設備と一緒に立ち上げたり、お客様のもとに納品しに行き、設置の工事を行ったりしています。



——お仕事をされていて、やりがいを感じるのはどんなときですか。

一番のやりがいは、お客様と初期の打ち合わせから納品のときまで顔を合わせて一緒にできるので、その仕事が完了して「助かりました」とか「ありがとうございます」とか、感謝の気持ちを伝えてもらえるそのときが一番うれしいですね。

あと、私はもともと工学部出身で、ロボットを動かすのが好きで、見ているのも好きなんです。だから実際に自分の関わった設備や、プログラミングした装置が動いていく様子を見るのも面白いなと思いますね。

——成澤さんが思う、デンソーF A山形の魅力は何ですか。

当社の魅力は、フルオーダーメイドで設備を作っていることです。お客様にご注文いただく設備は一つとして同じものはないので、一つ一つ手作業で設計や製作をしていくのが一番魅力的で、やりがいもありますね。

また、親会社のデンソーは国内トップの自動車部品メーカーなので、すごいノウハウを持っているなど日々感じていて、そういう会社で自分も大きな仕事に携われることにも魅力を感じています。会社として安全と品質を第一に考えるところもすごいなと思っています。

——安全対策として具体的にはどんなことをやっていますか。

設備メーカーとして、製作する設備は安全を第一に考えています。作業者が設備を稼働するにあたって怪我をしないように、機械設計と電気設計（ハード設計と制御設計）の各担当者が一緒になって、必ず設計段階から安全対策を構想して進めています。

また、社内の日々の作業は、保護具（保護メガネ、安全靴、帽子）の着用と、危険な作業をしないという声掛けと意識付けとを行って、実際に設備を製作する上でもみんなで安全を心掛けています。



——お仕事をやる上で苦労している点がありますか。

基本的に一人で完結する仕事というのはほとんどなくて、チームで進めていきます。そのため、全体の段取りや進捗管理、問題点をみんなで共有しながら進めなければいけないというのは楽しいことでもあり、難しいことでもあります。

ただ、事務所も工場の現場も、みんなでよく話して一緒になって考えながら進めるので、すごくやりやすい職場だと思います。

——自分が成長したと感じることはありますか。

成長という面では、私の部署では物件単位で担当者が決められていて、その物件についてはまとめ役になることが多いです。その中で物事を取りまとめたり、みんなの前で話したりというのは、前よりは上手くできるようになったと思います。

——入社前と入社後で、会社に対するイメージで変わったことはありましたか。

もともと工場といえば、ライン上でずっと同じ作業を続けるとか、ただひたすら設計だけをするとかっていうイメージを持っていました。

でもいざ入ってみたら、あまり流れ作業とか固定した仕事というのはなくて、ほとんどは周りの人と話して協力しながら進めていくものでしたね。それに、思ったほど座って仕事していないなと思います。歩き回るし、よく話すし、固くなりすぎずに仕事できているなと思います。



(2) 職場編

——デンソーFA山形での就職を決めた理由は何ですか？



就職活動をしているとき、電気・電子・情報関係という自分の好きなことをベースに考えていました。ロボット関係か航空宇宙産業かどっちかがいいなあとは考えていたのですが、一番の決め手は、実際に工場の中を見学したことです。

会社説明会で工場見学の機会があって、工場の中で動いている生産設備や、現場の製造メンバーが設備を作っている姿を見ました。

そこで、並んでいる設備も一つとして同じものがないのに驚きましたし、それを手作業で一品一品作るのはすごく楽しそうだなと思い、入社を決めました。もう一つの理由は、地元山形にあったことです。

——工学部出身と伺いました。研究が仕事で活かしたことはあるのでしょうか。

私は電子工学や情報工学を専攻していて、所属している電気設計室と近い分野を学んでいました。ですが正直なところ、大学で学んだことよりも、入社してから学ぶことのほうが多くて、ほとんど仕事をしながら覚えていきましたね。逆に、大学で大事なものは、部活とかサークルでいろんな人と話したり、アルバイトでいろんな経験を積んだりとか、多分そちらのほうが重要かなと私は思いますね。

——入社してから技術や知識を学ぶシステムが会社の中にあるんですか。

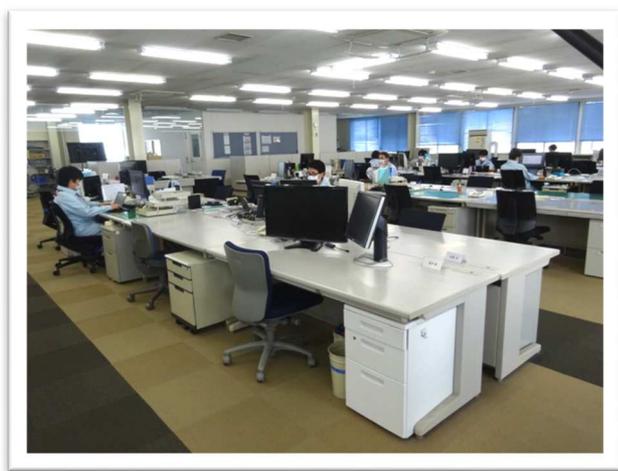
先輩方が技術の専門的な部分は教えてくれますし、当社で代々培ってきた技術があるので、その蓄積としてのいろいろな資料や、過去に作った設備の実績から技術を引用したりしています。たくさんあるので、すぐは覚えられないのですが、少しずつ学んでいっています。

——工学部系以外の人は入社してから大変ですか。

いやー、正直なところ私も入ってから教えてもらったことがかなり多いので、おそらくさほどスタートに差はないかなと自分では感じています。

——社員教育が充実しているそうですが、どういう特徴がありますか。

最近では設計業務が分業化していることもあり、段階を踏んで教育することが特徴ですね。最初からいきなり設計を担当するのではなく、まず製作した設備の立ち上げ方を学びます。



そこから少しずつ現場の人と一緒に調整だったり、バグ出しだったりを経験して、最後に上位設計の方に移ります。そういうフローを数年ずつ区切って経験するようになっていて、下流（注：完成品に近いほう）から少しずつ上流のほうに業務のフローを進めていく形をとっていますね。

——社員の方々に資格を取得されている方は結構いらっしゃいますか。

業務上絶対に必要という資格はないのですが、私の場合だと高所作業や感電防止という作業の責任者の資格を持っています。ただ、いろいろなロボットを使うので、ロボットメーカーのロボット講習会や、関係する設備・立ち上げ関連の講習会を受けてスキルアップを目指すことはよくあります。

——小さいお子さんがいると伺いました。子育てに対する会社からの支援などはありますか。

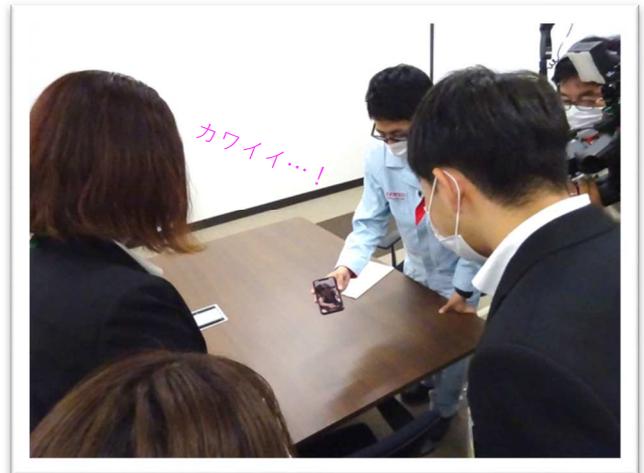
子どもが生まれると育児休職や慶弔休暇が取得できる制度があります。

私も、子ども2人が生まれたときに両方とも慶弔休暇を取得したのですが、妻が退院するまでの間は、子供と妻と一緒に過ごせました。あと、子どもが生まれると上司や先輩が気を使って、「早く帰れ～」と言ってくれるので一緒にご飯を食べたりというのはありますね。

——仕事とプライベートとの両立は可能ですか？

そうですね、毎日帰ったら子どもをお風呂に入れたり、週末は朝ご飯や昼ご飯を私が作ったりしています。仕事中はもちろん仕事に集中していますが、家にいる時間はなるべく子供と遊ぶようにしています。家族とスキンシップを欠かさないようにしています。

繁忙期だと残業があることもありますが、時期によります。自分が担当して設計している物件がひと段落すると、少し早く帰ったり振替で休んだりして、再始動します。子どもの顔を見ながら(スマホの待受画面を見せながら)、励みにして日々頑張っています(笑)。



(3) ある日の過ごし方編

●8:30【出社】

当社はフレックスタイム制度があるので、自分の業務のスケジュールに合わせて出退勤時間を決めることができます。コアタイム（必ず勤務する時間）は9:30から15:00です。

出社後は、メールとその日の予定をチェックします。



●9:00【設計業務】

各設計者への設計依頼、設計展開用の資料作成をします。

●12:20【お昼休憩】

社員食堂で、いつもラーメンを頼みます。今年4月から社員食堂ができたので、昼食の楽しみが増えて仕事のモチベーションアップに繋がっています。

「冷やしラーメン、鳥中華などの山形名物もあります！」

「先輩と一緒によく食べています。最近はコロナ対策で距離が微妙にあるので、早く元の生活に戻ったらいいなと思います。」



●13:00【設計依頼の打ち合わせ】

各設計者と設計打合せをして、仕様展開をします。打合せのまとめ方や伝え方がまだまだ未熟なため、分かりやすい資料の方法や打合せ時の伝え方の勉強中です。



●15:00【お客様への対応】

過去に納品した設備のお客様からのお問合せの対応をします。

●16:00【設計業務】

自分が設計担当する設備の制御設計を行います。



●19:30【退勤】

この日は残業を2時間行いました。退勤後はこども二人と一緒に風呂に入ってから就寝します。

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域に住んで良かったことはありますか。

食べ物がおいしいことですね。特にラーメンが好きなので、ラーメンには困らないというのが一番うれしいです。あと温泉も好きなので、天童も山形市内も温泉には困らないのですごくいいなと思います。

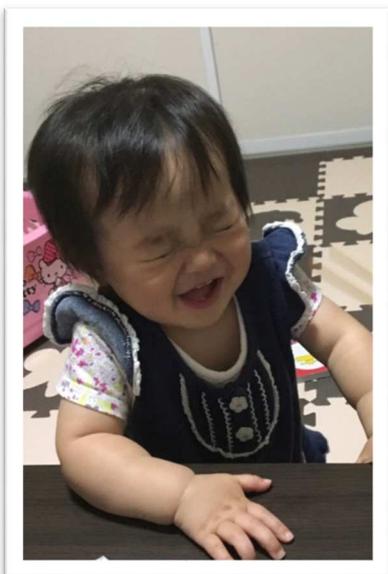
好きな食べ物は、山形市にある「サフラーハンバーガー」のポテトがすごく好きです！おいしいんですよ！



——ご家族でも出かけたりするんですか。

おいしいものを食べに行きますし、温泉旅行にも妻と子どもと行きます。一泊だとあまりゆっくりできないので、近場の温泉旅館などに二泊とって、一日中家事も何もせずに休むというのがいい時間の過ごし方ですね。

——子育てををするときに村山地域で良かったなと思うことはありますか。



子育てする環境がいいなと思います。私は天童市に住んでいるのですが、屋内遊具やカフェスペースなどがある施設「げんキッズ」があって、子育てする環境には困らないかなと思います。芳賀タウンあたりだと、子ども用品の買い物に便利なので、妻と二人で日々利用しています。

——ご実家からのお手伝いもあるのでしょうか。

私の実家と妻の実家から、週末は子どもの面倒を見に来てくれたり、私も妻も用事で外さなきゃいけないときは面倒を見に来てくれたりして助けられています。共働きなのでたまに保育園に迎えに行ってくれたりもしています。

(5) まとめ編

——今後、お仕事をしていく上で目標はありますか。

私個人としては技術者として技術力を高め、会社の仕事の付加価値を上げていくことと、会社に技術を蓄積していきたいと思います。

あと、子どもが2人いるので、今までの仕事をこなしつつ計画的にスケジュール管理をしっかりして進めていけたらと思います。



——技術者として、技術力を高めるために取り組むことはありますか。

私はまだまだ未熟なので、技術力を高めるために設計者としてよく考えて、よく調べるといことですね。もっと上の先輩方は自分たちとは比較にならないくらい高い技術力を持っているので、一緒に働く中でどれだけ技術を学べるかということも課題ですね。

——今後就職活動を行う方へメッセージをお願いします。

人生の長い時間を仕事に費やすことになると思うので、自分がやりたいこと、興味のあること、楽しいと思えることをよく考えるのが大事ですね。職場の雰囲気なども調べられる限り調べていって、入社した後に長く楽しんで仕事をしていけるような職場探しをしてもらいたいと思います。

———ありがとうございました！

有名企業のデンソーFA山形に行くのはなかなか緊張しましたが、社員さんの温かい雰囲気が工場という機械的なイメージを払拭させ、それどころか文系の私にも魅力的に映りました。就職活動への助言としてまずは自分の興味関心を知り、長い目でその仕事を楽しく続けられるかというところに重き置くことを重視した成澤さんの言葉は、大変な時代を生きている今の私たちにとっても非常に大切なことだと思えます。

オーダーメイドの生産設備や将棋代指しロボットを間近で拝見でき、その緻密さや設計におけるこだわりにはとても興奮しましたが、それ以上に日々働く社員さんの意識やコミュニケーションの重要性などバックグラウンドを知ることができたのは非常に貴重な時間でした。

また、村山地域で暮らす上では子育てやグルメにおいても充実しているということで、山形での就職はプライベートに関しては全く心配がなく、安心の環境だとおすすめてできます。コロナ禍での就職活動に向けて、山形県での就職を考える新しい観点が発見できました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 門崎真有子・長沼莉保、 工学部 室橋俊輔】



株式会社デンソーFA山形

【山形から世界へ！ものづくりを支える会社です。】

工場の生産を自動化する生産設備をオーダーメイドで設計・製造し、お客様の工場への設置立ち上げ・調整まで一貫して対応します。また、社員の健康を意識した経営を行い、「健康経営優良企業（ホワイト500）」に山形県内に本社を持つ企業で唯一認定されています。

★ISO9001、ISO14001 認証、健康経営優良法人 2020～ホワイト500～

- ・所在地 山形県天童市石鳥居2丁目1-57
- ・設立 昭和63年5月
- ・従業員数 317名（男性234名、女性83名）
- ・URL <https://www.denso-fy.co.jp/>

